

移動市長室



天拝ブロックコミュニティパトロール

地域住民の安心と安全のために

通算115回目となる移動市長室を、11月22日(火)に大門公民館で開催し、天拝ブロックコミュニティパトロールの役員など10人と懇談を行いました。

地域のパトロール隊

天拝ブロックコミュニティパトロール(コミパト)は、天拝小学校区をはじめとした大門、天拝坂、塔原、杉塚、北杉塚の五つの自治会で構成される自主防犯パトロール団体です。警察の講習を受け、パトロール実施者証を交付された75人で活動しています。地域内の犯罪発生を未然に防ぎ、安全で安心な暮らしを守るため、各自自治会ごとに防犯パトロールなどを行っています。天拝小学校を基点とした校区内パトロールを実施したり、自治会ごとの活動日が重複しないよう調整したりと、校区内の防犯活動の要の役割を果たしています。



防犯のための取り組み

青色防犯パトロールとは

警察からの証明を受け、青色の回転灯を装備した自動車(青パト)で行う自主防犯パトロールのこと。



天拝坂区のパトロール車

コミパトの主な活動は、青パトや徒歩での定期的なパトロールです。防犯灯の電球が切れていないかを確認したり、公園や人通りの少ない道などを注意しながら回っているといいます。「徒歩パトロールのときは結構な距離を歩きます。大変ですが、健康にもよいと感じています」と笑みを交えて話がありました。他にも、警察官と一緒にパトロールをしたり、地区回覧で最新の防犯情報を発信したりと、それぞれの地域で防犯のために独自の取り組みを行っているそうです。

安全への課題

長年欠かさずパトロールを行っているコミパトの皆さん。活動の中で見えてきた天拝ブロック地域の課題として、通学路が狭いことや、インシなどによる被害、防犯カメラの必要性などを市長に報告しました。

皆さんの地域の安全に対する熱心な思いを受け、藤田市長は「お聞きした内容をしっかりと課題として捉え、解決できるものに関しては早期に実現できるように努力してまいります」と回答しました。

自分たちで地域の安全を守る

子どもたちがパトロールに参加したり、大きな声であいさつを返してくれたとき、活動のやりがいを感じるそうです。一方で、メンバーの高齢化が課題となっているといい、若い人にも活動を担っていつてもらえれば、と話します。

安楽 國夫会長は、「自分たちの地域の安全は自分たちで守っていくという思いで、これからも頑張っていくます」と今後について語りました。

参加者からの感想

- 他地区と活動を共有できたいい機会でした。防犯のまちづくりのため、これからも継続して頑張っていきます。
- 地域の課題を市長が真剣に受け止めてくださったのが分かり、うれしく思いました。貴重な機会をありがとうございました。



藤田市長の一言



皆さん方のお話を聞きながら、防犯・防災、そして地域の諸問題に真剣に携わっておられることがよく理解できました。

地域の安全のため、早期に解決しなくてはいけない問題もお話しいただき、市長として非常に参考になり、ありがたい気持ちでいっぱいでございます。行政の足りないところを見直し、決に向けて努力してまいります。

これからも、10万6千余の市民の安全安心な生活を守るため、筑紫野のまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、皆様の変わらぬご協力をよろしく願います。